

令和2年度 事務事業マネジメントシート

		事務事業No.		1-	3
事業名	職員健康管理費	会計	款	項	目
		一般	2	1	1
施策	6 語らいのあるまち	課名	総務課		
	6-4 行財政運営の充実したまちをつくる	係名	人事係		
	6-4-1 町民サービスの向上				
主要施策	③ 人材育成				

1 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	職員	目的 (対象がどのような状態になっているか)	職員が心身共に健康で職務に専念できることにより、公務能率が維持及び向上する。
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・職員の定期健康診断、各種がん検診、人間ドック、脳ドックの受診 (費用については、定期健康診断及び人間ドックの一部を町負担) ・診断結果を産業医に診てもらい、必要であれば面談等を実施 ・長時間労働を抑制するとともに長時間労働者への産業医面談を実施 ・年次有給休暇の取得率の向上 			

2 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	指標名	平成30年度	令和元年度	令和2年度	単位	目標方向	令和2年度 (目標)	
	1	定期健康診断又は人間ドック受診割合	99.7	99.7	99.6	%	↑	100
2	病気休暇・休業者 (メンタル) 数の減	1	1	4	人	↓	0	
3								
4								
5								
			令和元年度 (決算)	令和2年度 (決算)			令和3年度 (予算)	
全体事業費 (千円) A+B				3,140	3,506		4,644	
財源内訳	直接事業費 A			2,414	2,780		3,258	
	うち一般財源			2,414	2,780		3,258	
人件費 (千円) B				726	726		1,386	
内訳	一般職員 (人・千円)		0.11	726	0.11	726	0.21	1386
	臨時職員 (人・千円)		0	0	0	0	0	0

3 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善<※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性は高まると考えられる	有効性	目標達成度	A 達成できた
		町関与の必要性	A 町が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	II 継続 (事業内容の現状が最良でこのまま継続すべき)					

(2) 事務事業の業務改善について

①R2年度の改善計画	時間外労働は、1ヶ月45時間、1年360時間以内を徹底する。働き方改革の研修を実施する。	③取組の課題	事務事業において、真の必要性について検証が必要である。
②R2年度に実施した取り組み	コロナ禍において、事務事業の見直しと洗い出しを行った。	④今後の改善計画	年休取得の促進と働き方改善の推進。